

インタビュー

加佐5地区の代表から

学校再編に携わった地域代表の皆さんに再編への思いについて話を聞きました。



岡田上地区
前岡田上公民館長
の迫田安彦さん

子供たちの健全な育成を願ううえで、再編はやむを得ない苦渋の選択でした。旧校舎や体育館などを防災拠点として、さらに文化・スポーツの発信拠点として新たな活用を図っていきたいと考えています。



岡田中地区
前岡田中公民館長
の南部道夫さん

再編については、賛否両論ありましたが、子供たちの教育環境を第一に考えたからこそ、話をまとめることができてきました。今後は、食育を通じて、地域、学校、市が一緒になった魅力あふれる独自の学校づくりを期待しています。



岡田下地区
前岡田下公民館長
の河田利夫さん

児童数が減少していく中、加佐の教育環境に危機感を感し、保護者や地域、学校と一緒に、再編の議論を重ねてきました。子供たちには、保育園から中学校まで豊かな自然環境の中で誇りと愛着を持ったたくましく育ってほしいです。



八雲地区
八雲公民館長の
池田博之さん

地域の過疎化が進む中で、学校の隣に住む私には、子供たちの登下校時などの元気で爽やかなあじさつに励ませ、力をもらいました。新しい学校では、統合されたそれぞれの学校の良さを相乗させて、新たな伝統と文化を築いてほしいです。



神崎地区
神崎公民館長の
井之本義行さん

水色のスクールバスに出会って、学校がなくなったことを実感して寂しくなり、村祭りなどの伝統行事を今まで以上に大切に、子供たちが「ふるさと」を誇りに思ってくれるようにしていきたいです。



由良川小学校児童会
副会長の織田琴莉さん

学校が一つになることで、児童会としてみんなをまとめるか不安もありますが、みんなと一緒に勉強したり遊んだりする中で、仲良くなり、切磋琢磨できる関係を築いていきたいです。今後も「大きな声であいさつができる」「互いに協力し

みんな明るく楽しく

【由良川小学校】

《教育目標》自ら主体的に学びつづけ心豊かにたくましく育ちふるさとが大好きな子どもの育成
由良川の子どもに花あり意地あり笑顔ありそして大好きなふる里あり



新しい学校に登校する児童(4月6日)

仲はしながら、みんなが明るく楽しい毎日を通して、せむし頑張りついでいこう。

仲間との絆、深めていきたい

【加佐中学校】

《教育目標》仲間とともに 夢と希望を育み 学びあい 認めあい 鍛えあう 生徒の育成



▲新しい校歌を合唱する生徒(4月8日)

再編により、旧由良川中学校から加佐中学校に移りました。母校がなくなったことは悲しいですが、新たな学校で新しい友達もでき、楽しい学校生活を送っています。体育祭や文化祭など大勢でできる行事が待ち遠しいです。生徒会のスローガは「創。それ

その学校の校風や地域の伝統を受け継ぎ、学年を超えて仲間との絆を深め、卒業する時はみんな笑顔で「楽しかったね」といえるような学校にしていきたいです。

母校への思いを胸に 未来へ羽ばたこう

加佐地区の小・中学校を再編

再編までの経過

加佐地区では、人口や児童・生徒数の減少により厳しい教育環境が続いており、平成16年6月から地域住民でつくる「21加佐活性化協議会」を中心とした「加佐の教育を考える会」により、同地区の教育環境について、議論が重ねられてきました。20年4月には、教育委員会が「加佐地区の教育環境あり方検討委員会」を設置。21年3月に同委員会から提出された「加佐地区の教育環境のあり方」についての提言を踏まえて、学校再編を含む基本方針を定め、22年1月に「加佐地区の教育創造計画」を策定しました。また、同5月には、同計画に基づき、学校再編に向けた全体的な協議を行う「加

再編までの経過

佐コミュニケーション委員会」を設置し、食育(給食)や学校づくり、校歌校章に

ついでに専門部会などで協議を重ねてきたほか、通学方法に関する会議も開催し、具体的な取り組みを進めてきました。

学校は地域コミュニティの中心

「加佐地区の教育創造計画」(平成22年1月策定)に基づき再編を進めてきた加佐地区の5小学校(岡田上・岡田中・岡田下・八雲・神崎)と2中学校(岡田・由良川)が、23年4月から新たに2小学校(岡田・由良川)と1中学校(加佐)に生まれ変わりました。今号では、再編に向けたこれまでの取り組みのほか、新たに開校した学校の児童生徒の声や再編に携わった人たちの思いなどを紹介します。



福井喜一郎さん

21加佐活性化協議会(加佐の教育を考える会)会長で、加佐コミュニケーション委員会委員長であった福井喜一郎さんに学校と地域のつながりについて話を聞きました。

加佐地区の5小学校・2中学校は、23年3月末をもってすべて閉校し、4月から新たに2小学校・1中学校が開校しました。新しい学校は、岡田小学校、岡田中学校、加佐中学校の3校です。各校とも児童・生徒が増えたとともに、体育・文化活動が活発になり、切磋琢磨できる教育環境が期待できます。

新しい学校がスタート

加佐地区の5小学校・2中学校は、23年3月末をもってすべて閉校し、4月から新たに2小学校・1中学校が開校しました。新しい学校は、岡田小学校、岡田中学校、加佐中学校の3校です。各校とも児童・生徒が増えたとともに、体育・文化活動が活発になり、切磋琢磨できる教育環境が期待できます。

舞鶴に一つしかない学校に



岡田小学校児童会長の荒賀花子さん

学年を超えて学び合い、高め合って舞鶴に一つしかない学校にしていきたいです。

【岡田小学校】

《教育目標》“紡ぐ”ふるさとのやさしさかきこきたくわえて志高く生きる岡田の子
～挑み高まる喜びつなげる喜びふるさとに在る喜びをもとめて～



▲新1年生13人を迎え、初めての入学式を開催(4月6日)

児童・生徒数の内訳(人)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
岡田小学校	13	17	10	11	22	13	86
由良川小学校	6	17	17	15	23	10	88
加佐中学校	28	17	32				77

※平成23年4月1日現在

加佐地区の小・中学校 思い出をありがとう

岡田上小学校



▲運動会で組み体操(昭和46年=旧岡田上小学校提供)

明治6年



▲開校を記念しサクラを植樹(平成23年3月27日)

岡田中学校



▲旧漆原校舎児童(昭和6年=旧岡田中学校提供)

明治6年



▲開校の記念碑を除幕(平成23年3月27日)

明治6年



▲漆原校舎として開校

昭和25年



▲閉校を記念しサクラを植樹(平成23年3月27日)

岡田下小学校



▲学校給食を開始(昭和24年7月=旧岡田下小学校提供)

明治6年



▲児童らが制作した陶板で飾ったモニュメントを除幕(平成23年3月27日)

八雲小学校



▲旧校舎(昭和51年=旧八雲小学校提供)

明治6年



▲閉校を記念しサクラを植樹(平成23年3月27日)

神崎小学校



▲神崎消防団との防災訓練(昭和49年12月=旧神崎小学校提供)

明治6年



▲舞鶴市出身の織田洋子さんらのお別れコンサート(平成23年3月27日)

岡田中学校



▲旧校舎での授業風景(昭和34年=旧岡田中学校提供)

昭和30年



▲閉校式でソーラン節を披露する生徒(平成23年3月26日)

由良川中学校



▲旧校舎の全景(昭和31年=旧由良川中学校提供)

昭和31年



▲メッセージを掲げ母校との別れを告げる(平成23年3月26日)

小学校共通

◆昭和16年 国民学校令の施行により、全5校が国民学校と改称
◆昭和22年 学制改革により、全5校が各私立小学校となる
◆昭和30年 加佐町が発足し、全5小学校が岡田立小学校となる
◆昭和32年 加佐町が舞鶴市と合併し、全2中学校で閉校式、加佐町が舞鶴市と合併し、全5小学校が岡田立小学校となる
◆平成23年3月27日 全5小学校で閉校式

中学校共通

◆昭和32年 加佐町が舞鶴市と合併し、全2中学校が岡田立中学校となる
◆平成23年3月26日 全2中学校で閉校式

インタビュー



22年度岡田中学校PTA会長の倉橋一夫さん

各校で行ってきた伝統ある行事や催しを、再編してきました。再編により、児童・生徒数が増えることは子供たちにとって良いこと。地域を大事にする人に育ってほしいことを願っています。

スクールバスを運行

市教育委員会では、再編川小学校と加佐中学校の間に伴い、自宅から学校までの距離が遠くなった由良川小学校の児童2月6日開始しました。



加佐地区の通学方法に関する会議とスクールバス調整会議で議論し、実現したものの、バスは38人乗りで、京都交通(株)に運行を委託。通常、登校時は2便、下校時は4便を運行し、現在、児童・生徒約80人が利用しています。

加佐地区の学校再編に関するお問い合わせは、教育総務課(☎66・1070) か学校教育課(☎66・1072)へ。